

八王子市教育委員会 殿

学校名 八王子市立横山第一小学校

校長名 加藤 方浩 公 印

## 令和8年度 特別支援教室の教育課程について（届）

このことについて、八王子市立学校の管理運営に関する規則第16条により、学校教育法施行規則第140条の規定に基づく、特別支援教室による指導を下記のとおりお届けします。

### 記

#### 1 特別支援教室の教育目標

- (1) 学校の教育目標3点のうち、特に「考える子」の育成を重点とし、特別支援教室では自立活動を通して児童の自己理解を促し、社会と関わるための基礎的な能力を養うことを目標とする。
- (2) 在籍学級や各教科の内容と関連付けながら、心理的な安定や人間関係の形成、コミュニケーション能力を育成する。

#### 2 教育目標を達成するための基本方針

- (1) 児童一人ひとりの障害の状態や発達段階を的確に把握し、改善・克服に向けた手だてを講じるとともに、児童が自身の良さに気づき自己肯定感を高めるため、児童の実態に合わせた自立活動の指導内容を設定する。
- (2) 保護者や在籍校とともに作成した学校生活支援シートや連携型個別指導計画を活用し、児童の特性や支援の方向性について在籍学級担任等と共通理解を図り、個に応じた指導・支援の充実を図る。

#### 3 指導の重点

- (1) 自立活動においては、児童一人ひとりの困難さに基づき、「心理的な安定」「人間関係の形成」「コミュニケーション」に関する指導を特に重視する。具体的には、自分の考えを適切に表現する力を育てるとともに他者の気持ちを理解しようとする態度を養い、よりよい人間関係を築くための基礎的なコミュニケーション能力を育てる。

#### 4 その他の配慮事項

- (1) 児童の実態を十分に踏まえ、巡回指導教員及び保護者と連携を密にとりながら指導を行うとともに、校内委員会を活用して指導目標を明確に示したうえで支援方法等の見直しを定期的に行う。
- (2) 通常の学級において、道徳や学級活動を通して、誰もが安心して過ごせる環境について考えられるようにする。また、個々の違いを認め合い互いに尊重できるように障害者理解教育の推進を図り、思いやりをもって接することの大切さを指導する。そのことで、多様性を認め合う共生社会実現の素地を養う。
- (3) 1日の時程や週時程、授業の1単位時間については、児童の実態を考慮して設定し、無理のない指導体制を整える。
- (4) 在籍学級担任を含めた三者面談、医療機関の地域連携事業の活用、校内委員会の参加等を通じて、巡回指導教員と保護者、在籍校の特別支援教育コーディネーター、在籍学級担任、心理・医療・福祉等の関連機関との協力・連携を図り、個々の実態の把握に努め、指導する。
- (5) 巡回指導教員、保護者、在籍学級担任とで連携型個別指導計画を基に、児童の実態を校内で共有、把握し、学期毎に指導内容や方法の見直しを図る。